

私らしく生きたい

～要介護度5のグループケアの展開～



介護老人保健施設 **ケアセンター赤とんぼ**

【期間】

平成18年4月 ～ 平成19年1月

【対象者】

さざんか(重度)グループ

利用者10名(平均要介護度5)とその家族

【取り組み内容】

- 1) 個別活動プログラムの作成・実施
- 2) 最後まで口から食べる取り組み
- 3) 家族との時間の確保
- 4) チームケア
- 5) 施設での看取り

1) 個別活動プログラムの作成・実施

2) 最後まで口から食べる取り組み



頸部マッサージ



呼吸訓練



3) 家族との時間の確保

コスモス見学



誕生会



勉強会



散歩



4) チームケア

- ・カンファレンス
- ・ミーティング
- ・勉強会
- ・新人教育
- ・職員配置の調整

5) 施設での看取り

【結果】

1) 個別活動プログラムの作成・実施

●働きかけへの反応が改善した

2) 最後まで口から食べる取り組み

① 食事時間の変更

●食事に係る時間が短縮し利用者の疲労が軽減した

② 栄養回診の実施

●各専門的立場からの検討ができ、栄養状態が改善した

③ 口腔リハビリの実施 口腔清掃

●嚥下機能の維持ができた ●口腔ケアの拒否が減った

【結果】

3) 家族との時間の確保

① 行事・活動への参加

- 楽しい時間や思い出になる時間が共有できた

② 施設内ケアへの家族の参加

- 嚥下訓練や食事介助、散歩などのケアへの参加

- 家族と職員との情報交換が円滑化

③ 満足度調査の実施

- 5月・12月 91%の満足が得られた

【結果】

4) チームケアの実施

- チーム内コミュニケーションが密になり、情報の共有
が出来る事で、ケアの質が向上した

5) 施設での看取り

- ※ 事例紹介

【事例紹介】

H・Y氏 98歳

要介護度5

- ・平成18年7月頃から食思低下
- ・平成18年10月看取り検討

・平成18年10月下旬

※ 自宅への外出検討

・平成18年11月11日 外出

・平成19年1月5日他界(赤とんぼ)

ご自宅での最後の写真



【考察】

- 1) ケアプラン達成の評価によって、個別活動の妥当性を評価していく。
- 2) 栄養回診を継続し、最後まで口から食べるケアを実施する。
- 3) 家族の関わりを、情報交換の段階から在宅に向けた段階へと促す働きかけに移行する。
- 4) チームケア内、職員間の職能のバラツキをなくすためチームリーダーやベテラン職員による個別指導を計画的に行う。
- 5) 終末期ケアを老健施設で行う事を視野に入れた体制づくりを行う。



介護老人保健施設 ケアセンター
赤とんぼ

地域と共に

心ひひとつ